

今日のみ言葉 223 「新しい創造」 2013. 1. 8

だれでもキリストにあるならば、その人は新しく創造された者である。
古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。(Ⅱコリント 5:17)

So if anyone is in Christ, he is a new creation:
everything old has passed away;
see, everything has become new ! (2Co 5:17 NRS)

キリストの内にある人、キリストと目には見えない結びつきを与えられている人、その人は、新しい創造なのだとされている。そのようなことは、人間の努力や生まれつきの才能によってできたのではなく、神ご自身の御手による新たな創造であるからである。

私たちは、神の一方的な恵みによって罪赦され、キリストの内に留まることができるようにしてくださった。

そのとき、内面は新しくされ、それまでの暗い憂うつな、あるいは希望のない内面の世界は過ぎ去っていく。

キリストは、神と同じお方であるゆえ、あらゆる真実や愛に富んでいるお方である。そのような純粋な愛や真実に出会うとき、人間は限りない深さと新鮮さを実感する。

ここには、一般世間の考える新しさと、全くことなる新しさがある。世間の新しさは、たちまち古びていく。新聞やニュースなどそれを読んだり聞いたりしたとたん古びていき、もう読む気もしなくなる。私たちの人間そのもの、魂が新しくされなければ、いかに新たなものを身につけ、買い換えても人間そのものは日一日と古くなっていくのをどうすることもできない。

新しい場所へ行くこと、新しい経験を積むこと、あるいは新たな勉強をしたり未知の人間とかかわることを誰でも求めている。そしてそれらはたしかに部分的に私たちを新しくさせ、新たな世界を実感することになる。

しかし、それらの新しさは必ずふたたび古びていく。どんな新たな経験もまもなく色あせてくるし、新たな人間関係も分裂や誤解が生じたりする。私たち自身も日々古くなっていく。

この世の新しさは、このように、時間とともに古くなっていくのが宿命である。

しかし、キリストの内にあるとき—キリストと霊的に深く結びついているときには、単調な生活や、同じようなものに繰り返し接しても、そこに新たな何かを感じ取ることができる。それは、キリストの内にあるゆえ、万能であるキリストがそのように実感させるのである。

キリストの内にあるとき、キリストも私たちの内にいてくださる。(ヨハネ15の4) それによって、私たちは周囲のものが新たに創造されたものとして実感するようになる。

そしてこの道こそは、万人に開かれた道である。病気の人はいくら新たな場所に行きたくとも行けない、新しい家に住みたい、と願っても貧しい人にはできない。新たな勉強をして考え方や技術を身につけたいと思っても、そこにはやはり能力や健康が必要となる。

キリストが示した道は、そのようなものが何もない者であっても豊かな新しさを与えられる道であり、しかもそれは、死後ですらも、永遠に続く新しさなのである。

キリストの内にある者は、神の力によって復活してキリストの栄光と同じように変えられるからである。



このモミジカラマツは、中部地方から北の東北、北海道、さらにカムチャッカ、千島にも見られるとあります。私がじっさいに見たのは、北海道の大雪山や月山（山形県）、この写真を撮った秋田駒ヶ岳で、こうした山々でよく見られた花です。

この写真では、緑の茂みのなかから、純白の花を咲かせ、すがすがしい雰囲気をかもしだしています。この写真では分かりにくいですが、葉がモミジ状になっているのでこのような名前となっています。真っ白い花は、おしべがこのように多数出ているのです。花というと花びら（花弁）のある花を思い出すことが多いのですが、この花のように、雄しべが美しく伸びてそれが花となっているものもあります。カラマツソウの仲間には、ほかに、シキンカラマツ、ミヤマカラマツなど10数種に及ぶ種類があり、そのなかで、このモミジカラマツは、大型で60センチほどの高さになり、下部の葉の直径や、葉柄なども、30センチほどにもなります。

この純白の花は、花の色素を持たないのですが、色彩ゆたかな花とは違った美しさとなっています。真っ白い色—それははるか昔から、汚れなきもの、清いものを感じさせるので、心ひかれるものとなってきました。

聖書にも、この清らかさへの願いが記されています。

「わたしを洗ってください。雪よりも白くなるように。」（詩篇51の9）

また、聖書の最後の書である黙示録にもつぎのようにあります。

「勝利を得る者は、このように白い衣を着せられる。

わたしは、彼の名を決して命の書から消すことがない。」（黙示録 3:5）

また、地上の混乱のまったくない天の国において、すでに信仰のゆえに苦難を受けた人たち、そしてキリストによって清められた白い衣を来た人たちが、「救いは、神とキリストのものだ！」と大声で叫んでいたと記されています。（黙示録7の9～10）

私たちの最終的な希望は、このようにまったく清められて神のみもとへと導かれることです。